

JMPAカラー2018 説明会

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

JMPAカラー管理委員会

海老原 進

2018年4月25日

【本日の目次】

- 新しいJMPAカラーの内容
 - 質疑応答

雑誌広告デジタル送稿推進協議会について

- 設立: 2004年7月28日
- 目的と指針: 「雑誌媒体の価値を向上させることを目的とし、『雑誌広告デジタル送稿に関する諸課題』についての解決策を協議・策定し、3協会及び関連するプレイヤーに発信する」
- 推進母体: (一社)日本雑誌協会
(一社)日本雑誌広告協会
(一社)日本広告業協会
- 組織: 雑誌広告デジタル送稿推進協議会(本会議)
JMPAカラー管理委員会
J - PDF仕様検討委員会

【数字から見た雑誌広告の現状】 電通による「2017年日本の広告費」から

◆ 6年連続でプラス成長

◆ 総広告費も前年比101.6%の6兆3,907億円

◆ インターネット広告費は4年連続2桁成長



残念ながら雑誌広告は

◆ 雑誌広告費は2,023億円。前年比91.0%



ただし

◆ 出版社由来のデジタル広告売り上げは2年連続2桁成長

◆ 出版コンテンツとデジタルメディアの協業は急速に深化

【オンライン送稿の現状】

2017年の

◆QP:前年比94%

◆PS:前年比96%

(デジタルSEND社より)

新しい J M P A カラー

Ⅱ

J M P A カラー2018



【JMP Aカラー2018 3つのPOINT】

- ①プロフィールの徹底的な見直し
- ②画像やカラーパッチ、判型の仕様を変更
- ③最大の特長は1bit採用



2003年の運用開始から15年、
大きな進化を遂げました！

【JMP A カラー2018の内容】

ベンダーキットはこの7枚のDDCPがセットされています！

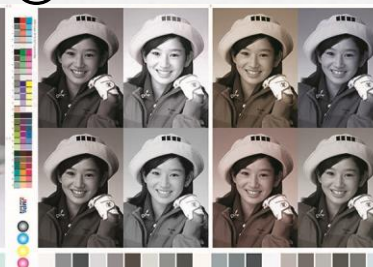
①



②



③



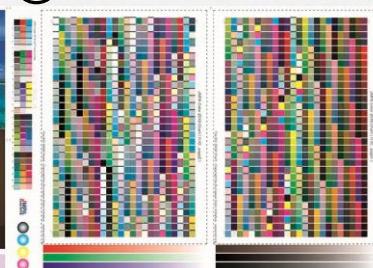
④



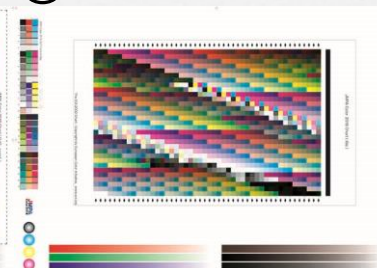
⑤



⑥



⑦



【JMP A カラー進化の歴史】

Ver.3.01 (2014年)

- 制作サイドのインクジェットプリンターと、印刷会社のDDCP(デジタルコンセンサス等)とのマッチング精度向上を図る。

Ver.3.00 (2011年)

- 評価用画像を追加。従来、色調を合わせにくいとされてきたセピア系やシャドウ部のグラデーション等に効果的なツールへと進化。

Ver.2.01 (2005年)

- ベンダーキット出力用紙をOKトップコート+に変更。

Ver.2.00 (2004年)

- リッチブラックの色合わせに必要なカラーパッチを追加。

【JMPA2018 POINT1】

#プロファイルの徹底的な見直し-1

◆ 2014年にVer.3.01をリリースした背景

- ✓ 当時、制作側のデバイス環境がインクジェットプリンターへの転換期に
- ✓ 印刷会社のデジコンとの制作側のインクジェットプリンターのマッチングを図るため
 - ✓ インクジェットプリンターでベンダーキットを制作(8bit仕様)
 - ✓ しかし、デジコン発売中止は業界内では周知であった



◆ 2016年にデジコン運用終了

- ✓ 印刷会社は校了紙出力をインクジェット方式のジェットプレスに転換
- ✓ ジェットプレスと制作側のインクジェット環境の整合性をとる必要性が！
 - ✓ JMPAカラー管理委員会で新バージョン策定に着手



【JMPA2018 POINT1】

#プロフィールの徹底的な見直し-2

◆ 2017年はプロフィールを追い込みました！

- ✓ 印刷4社、印刷4社と制作側、印刷4社とベンダーでマッチングを図る
- ✓ 仕様固めのステータスへ！

【JMPA2018 POINT2】

#画像、カラーパッチ、判型の仕様を変更

- ◆ Ver3.01-PhotoBをカラバリ化
- ◆ Ver3.01-PhotoEとFのセピアもカラバリを細分化
 - ◆ 恒常性管理用カラーパッチ 27→81へ3倍増
- ◆ カラーチャートを最新版(ECI2002採用)に更新
 - ◆ 判型はA3判を採用！
 - ◆ じつはトンボもなくなりました



**Ver1から3.01までの体裁を大きく変更！
全面リニューアルとなりました！**

【JMPA2018 POINT3-1】

#最大の特長は1bitで作成

→ 網点運用が可能に！

制作側

- ◆ デジコン運用終了後、制作側の出力デバイスは
インクジェットプリンターが主流に
- ◆ しかし、8bit運用では網点が使用できない
- ◆ つまり、モアレ確認が難しい



印刷会社

- ◆ 印刷会社側はデジコンからジェットプレスへ転換
- ◆ 網点運用ができるため、モアレが確認可能

【JMPA2018 POINT3-2】

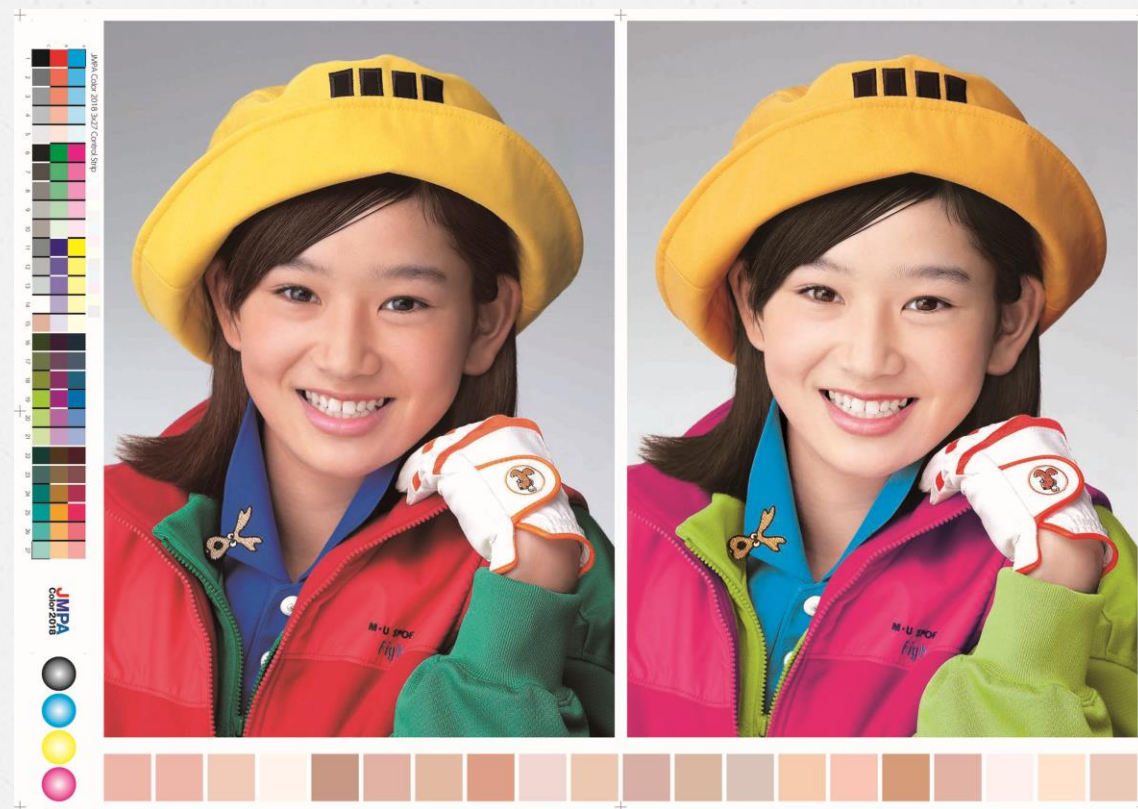
#最大の特長は1bitで作成

- ◆ 8bitと1bitは、実は測定値を合わせても見た目が一致しません
- ◆ 従来のベンダーキットはインクジェットの1bit出力向けの設定作成には不向きでした
- ◆ 今回はベンダーキットが1bitで作成しているため、1bitによる出力環境の作成が行いやすくなります
- ◆ 出力環境が整えば制作側で網点出力が可能になり事前にモアレ確認ができるというメリットに！
- ◆ 印刷とベンダーキットがともに1bitになることで、従来にはない極めて高い精度が実現することに

次のスライドからは
ベンダーキットの中身をご紹介します

【ベンダーキット①】

少女(人肌、グレーなどの中間色および原色系の確認用)



【ベンダーキット②】

●石膏像(淡いトーンおよび様々な色彩の確認用)

●金属(グレーおよびコントラストの高い金属類の確認用)



【ベンダーキット③】

カラバリ追加! 少女(グレーやセピアバランスの確認用)



【ベンダーキット④】

カラバリ追加! 風景(空、海、緑など記憶色の確認用)



【ベンダーキット⑤】

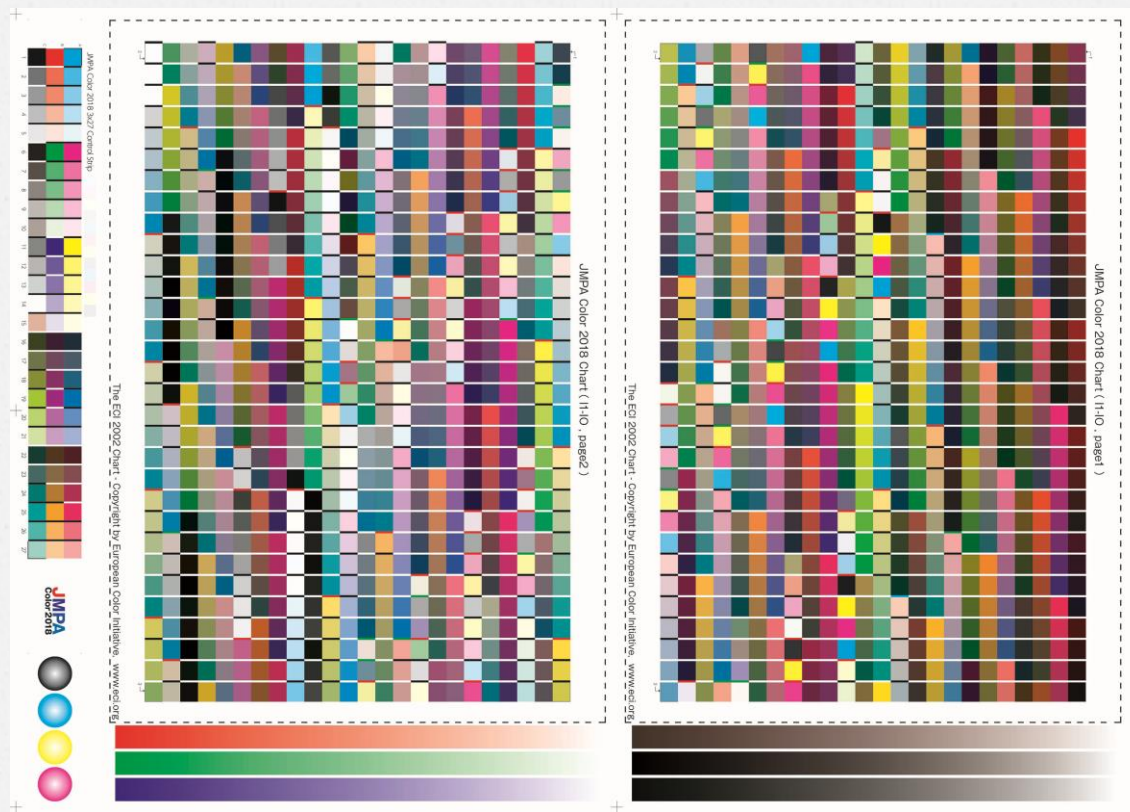
●夜(濃紺およびシャドウ付近の色調確認用)

●階段(セピアのシャドウ部のバランス確認用)



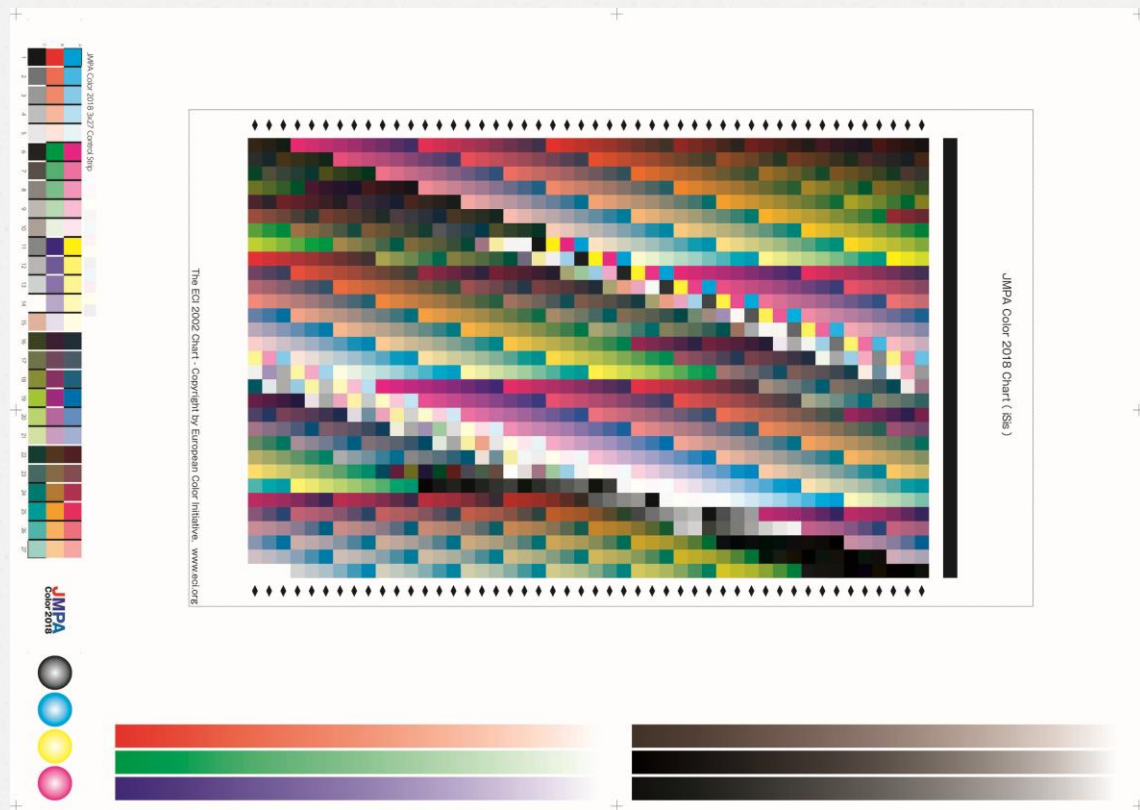
【ベンダーキット⑥】

NEW! カラーチャート



【ベンダーキット⑦】

NEW! カラーチャート



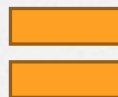
フルモデルチェンジですので ぜひ導入をお願いします！

世界でもっとも印刷クオリティの高い
わたしたち日本の雑誌広告の価値を
強く強く、高めていきましょう！

印刷会社



JMPA
Color2018



製版・制作会社



【頒布価格に関して】

◆ 新規:18万円

◆ 2回目以降の購入:12万円
(ともに税別)

※従来のリファレンスキットは廃止しました。

【JMP A2018 今後のタイムスケジュール】

◆ 4月25日(本日):説明会開催

※日本雑誌広告協会より加盟広告会社・出版社にリリース送付

※デジ送ナビ改訂

◆ 4月26日:注文受付開始

◆ 5月末から6月初頭:ユーザーにキット到着

◆ 9月3日送稿分から:印刷会社の設定切り替え

◆ 12月末:ver3.01版受け入れ終了

〈お願い〉

調整作業終了後、ベンダーキット画像一式を出力し、

日本雑誌協会に送付ください。

検証したうえで、「JMPA2018」ロゴを貸与します。

【タイムスケジュール補足】

#9月から12月の運用に関して

〈お願い〉

併用期間中、ver3.01版原稿を入稿する際は、
ご担当の広告会社にご一報を入れてください。

【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本雑誌協会

☎03-3291-0775

▼JMPAカラー2018専用アドレス

jmpa2018@j-magazine.or.jp

デジタル送稿の最新情報は 「雑誌デジ送ナビ」を！

 雑誌広告のデジタル化に関する制作・送稿のことなら
雑誌デジ送ナビ





お知らせ

2017.12.25 [【JMPAカラー次期バージョン】「JMPAカラー2018」リリースについて](#)

2016.08.01 [【8月1日運用切り替え】制作/校閲ファイル・プロファイル・仕様書](#)

2016.06.06 [【いよいよ7月末終了】制作/校閲ファイル・プロファイル・仕様書の切替えのお願い](#)

2016.02.08 [「Acrobat Pro9およびX運用廃止のお知らせ」が発表されました](#)

「Acrobat Pro9」とは、アドビ・システムズ・インコーポレーテッドの登録商標です。

雑誌広告運用方法 >	原稿制作方法 >	JMPAカラー >	印刷の基礎知識 >
当協議会の歩み >	Q&A >	お問い合わせ先 >	運営組織 >

COPYRIGHT(c)2018 ZASSHI DEGI SO NAVI ALL RIGHTS RESERVED.

質疑応答

きょうは貴重なお時間をいただき、
ありがとうございました。